

令和5年度 学校努力点について

1 主題

居心地のよい温かな学年・学級づくり
～道徳を中心とした授業実践を通して～

2 主題設定の理由

本校の児童は、学級内に関わらず、異学年であつてもだれかが困っていると進んで声を掛けたり、けがをした友達を保健室に連れて行ってあげたりするなど、友達思いである面が見られる。しかし、遊びや好きなことに夢中になっているときは、ささいな出来事が原因で、もめ事を起してしまう。また、自分が考えていることやしたいと思っていることは、友達も自分と同じように考えていると思いつ込んでいる児童も多く見受けられる。

その理由としては、自己中心的な考えや相手の立場になって考えようとする意識の低さなどが考えられる。このような状況下で、児童が一日の大半を過ごす学年・学級が、居心地のよい場所になっているとは言い難い。学年・学級は、互いに関わり合い、認め合うことで安心感がもてる場となるようにしたいと考える。

そこで、本年度は、道徳の授業を通して、学年・学級を居心地のよい温かい場所にしていく学年・学級づくりをしていきたいと考える。そして、互いに関わり合い、認め合う中で、一人一人が存在感を発揮しながら前向きに毎日を過ごすことができるようにしていきたい。

今年度は、児童の特性に応じた学習となるよう指導方法を工夫した道徳の授業や常時活動、行事等に関連させ、ICT機器を取り入れつつ、実践を行っていききたいと考える。



3 実践について

○ 授業研究

- ・ 1人1授業を公開する。
公開授業の教科・領域は自由だが、道徳・学級活動・総合的な学習が望ましい。
- ・ ICT機器を活用する。
- ・ 実践計画書を作成する。
- ・ 実践前には、略案を全職員に配付する。
- ・ 事前検討は必要に応じて行う。事後検討は各部会にて必ず行う。

○ 実践計画書

年 組 ○○○○
単元・題材名（本時○／○） ○○○（本時5／8）
本時の目標 ○○○○・・・できるようにする。
実践の主な内容

4 実態調査について

○ アンケート（意欲）

下記のアンケートを5月と1月に実施し、児童の変容を検証する。

例 <アンケート>

☆ 当てはまる^あ数字^{すうじ}を選び、○を^つ付けましょう。

1…「はい」

2…「どちらかといえばはい」

3…「どちらかといえばいいえ」

4…「いいえ」

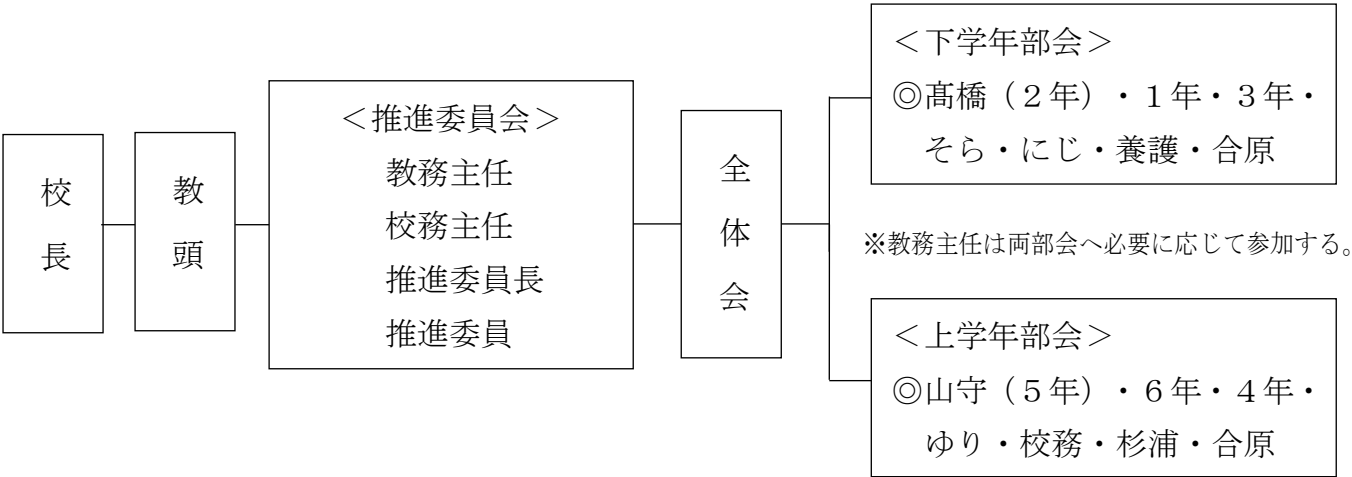
^{がっきゅう たの} 学級は楽しい。	1	2	3	4
^{ともだち きょうりよく} 友達と協力しあっている。 など	1	2	3	4

<感想>

5 報告書について

- (1) 実践計画書（5月）
4の実態調査の結果と実践の進め方について報告・検討する。
- (2) 最終報告書（2月）
授業実践や1月の実態調査の結果・変容、1年間のまとめについて報告する。

6 推進組織



7 年間計画

月	全体会・推進委員会	部会・その他
4	推・全 今年度の取組について	学年部会組織作り
5		実態調査、実践計画書作成
6	全 中間検討会	
7		
8		
9		
10		
11		
12		
1		実態調査 (1月までに実践を終える) 最終報告素案作成
2	全 最終報告会 推 来年度に向けて	
3		

一人一授業の実践を計画 ↓ 実践 ↓
下学年・上学年部会に分かれて検討